

毎週月曜 朝 新作公開。ここでしか読めない楠木建。

7月のテーマ「お金とスタイル」その1

お金は本能を直撃する。

今回のテーマは「お金」。とにかく世の中、みんなお金の話が大好きです。ただ、大好きなだけけれども、あまりオープンに話したりはしない。

まずは「収入」の話から。もちろんお金を稼ぐことは、卑しいことではありません。ただ、あまりにも「本能直撃」なんですね。人間のむき出しの本能と密接不可分のものは、あからさまにオープンにすると世の中が壊れてしまう。これが古来からの人間社会の知恵です。だから、お金のことは誰もあけすけには語らない。性生活と同じですね。あからさまに話をするのは大人の社会では下品なこととされています。でも、やっぱりみんな大いに興味があるので、お金うけの話や本はいくらでも出てきますし、雑誌などで繰り返し取り上げられています。

特にビジネス雑誌では、頻繁にお金の特集を組みます。年取何千万の人の生活スタイルとか、そんな話しばっかりでよくネタが尽きないというふうに思いますが、やっぱり「本能直撃モノ」なので、ネタは尽きない。

江戸時代でも、商業世界で生きていたビジネスパーソンはいっぱいたので、「商いもの」というジャンルがありました。当時のベストセラーが井原西鶴の『日本永大蔵』です。『日本永大蔵』の冒頭で、西鶴は「金は商人にとって命の次に大切なものだ」と言ったかと思うと、「金なんかあったって死んだらおしまい。あの世まで持っていけないよ」と言う。「金に拘泥するもんじゃない」と言ったすぐ次に、「やっぱり最後は金だから」と行ったり来たりする。大いに矛盾しているわけですが、お金というのはそもそもそういうもの。みんながみんな、最後はお金がすべてではないとわかってはいても、非常に気になる。目先のお金の多寡にどうしても反応してしまう。

僕もその例外ではありません。(2019年7月1日公開)

続きは、こちらから。



一橋大学ビジネススクール教授

くすのき けん
楠木 建 氏

1964年東京生まれ。一橋大学大学院商学研究科博士課程修了(1992)。2010年より現職。著書に『すべては「好き嫌い」から始まる』(2019、文藝春秋)、『戦略読書日記』(2013、プレジデント社)、『経営センスの論理』(2013、新潮新書)、『ストーリーとしての競争戦略：優れた戦略の条件』(2010、東洋経済新報社)など。

楠木建の「EFOビジネスレビュー」

<p>これまでの連載テーマ</p>	<p>働き方改革</p> <p>多くの企業が取り組む働き方改革を、長期的利益、文明の進歩、ダイバーシティの観点から考察する。</p>	<p>経営者と読書</p> <p>年間300冊を読み、無類の読書家としても知られる楠木氏。読書が経営にもたらす効用と独自の楽しみ方を語る。</p>
<p>組織の中のチーム力</p> <p>「チームワークが苦手」と公言する楠木氏。それでも参加したいと思える、最高のチームとは。</p>	<p>資本主義のこれから</p> <p>行き詰まりが指摘される金融資本主義の本質、そして資本主義の行く末について、長期的視点から掘り下げる。</p>	<p>人口減少にどう構えるか</p> <p>「人口減少はサイクルではなくトレンド」と喝破する楠木氏。海外の事例や国内の史実をひもとき、人口減少への向き合い方を提示する。</p>
<p>メガプラットフォーマーの実情を見極める</p> <p>世界の注目を集めるGAFAのビジネスを、楠木氏ならではのロジックで整理。4社の強み・弱みを明らかにする。</p>	<p>ルーティンを見直す</p> <p>日々のルーティンの重要性を主張する楠木氏。参考としている先人の「日記」や自身のルーティンを紹介する。</p>	<p>近過去からの学び</p> <p>日記に描かれた世相やアフリカで過ごした自身の幼少期など、疑似的な歴史経験ができる「近過去」から学んだこととは。</p>
<p>「良し悪し族」対「好き嫌い族」</p> <p>世の「好き嫌い族」に活力を！ 近著『すべては「好き嫌い」から始まる』で楠木氏が伝えたかったことを凝縮。</p>	<p>芸と仕事</p> <p>仕事で成功するには、その人に固有の「センス」が必要。センスを磨くために楠木氏が実践してきた方法とは。</p>	<p>お金とスタイル</p> <p>だれもが大好きな「お金」の本質を、多彩な切り口で抽象化する。無収入時代のエピソード、楠木流の投資哲学も披露。</p>

Executive Foresight Online(EFO)とは

日立製作所 システム&サービスビジネス統括本部がお届けする、ExecutiveのためのWebマガジン。ビジネスと社会の課題解決に取り組む経営者や起業家、研究者へのインタビューを公開しています。

日立 EFO

検索

<http://www.foresight.ext.hitachi.co.jp/>

